（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	フォレストキッズこどもの国教室			
○保護者評価実施期間	2026年　7月　15日	～	2026年　8月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	35	（回答者数）	26
○従業者評価実施期間	2026年　7月　15日	～	2026年　8月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　10月　1日			

○

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもと保護者が安心して利用できる支援体制	子どもの発達や特性、興味関心に合わせた個別性の高い支援を行っています。既定のプログラムや教材に子どもを当てはめるのではなく、アセスメントをもとに一人ひとりに必要な活動や教材を検討しています。また、保護者との日々のコミュニケーションを大切にし、家庭での関わり方や困りごとについて相談援助を行っています。	保護者様からの様々な相談に対応できるよう職員の知識や専門性の向上に努めます。また、モニタリングやアセスメント、日々のやり取りを通して保護者が安心して相談できる関係づくりを継続していきます。
2	子どもの特性に応じた個別性の高い支援	診断名や障害特性だけで捉えるのではなく、日々の行動観察を含めてお子様自身の得意なことや課題を丁寧に把握しています。支援プログラムや教材には目的や意図を設定し、発達や様子に合わせて内容や関わり方を工夫しています。	支援内容が固定化しないよう職員の知識や情報を更新し、プログラムや教材、関わり方に反映していきます。また継続して同じ活動を行う場合にもその目的や意図を保護者様と共有していきます。
3	綺麗な空間で支援できている。	定期的な清掃や使用した教材の消毒、支援の合間の換気等を行い清潔な環境の維持に努めています。また季節や感染症の流行状況も踏まえ必要な感染症対策を行っています。	引き続き、事業所をきれいに保つだけでなく、感染症などの対策のためにも、次亜消毒やアルコール消毒、職員がマスクをしたり、支援後毎回の換気を実施したりしています。また、冬季には加湿器を各ブースに設置し、感染症予防に配慮し運営していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	研修や訓練等についての保護者への周知	避難訓練等は定期的に実施していますが、実施内容の周知がSNSやブログ等に限られる場合があり、すべての保護者に十分伝わっていないことがあります。今年度も子ども全員が避難訓練を経験できるよう実施し、保護者への共有も行いました。	SNSだけでなく日々のやり取りや連絡ツール等も活用し、保護者に必要な情報が届く方法を検討していきます。安全に関する取り組みをよりわかりやすく伝えられるよう周知方法を見直していきます。
2	保護者交流や家族が参加できる機会の充実	卒所した子どもの保護者様と現在利用している保護者様との交流機会を設けるほか、児発管が仲介し保護者様同士がつながる機会を設けています。一方で保護者交流会や家族向け研修等を継続的に実施するまでには至っていません。	保護者様のニーズを確認しながら交流会や家族が参加できる学びの機会など、無理なく参加できる企画を検討していきます。また日々の相談援助と合わせて家族支援の充実につなげていきます。
3	園や地域の子どもとの交流機会	保護者様のご依頼をもとに幼稚園や保育園を訪問し、集団生活での子どもの様子の確認や情報共有を行っています。一方で園や地域の子どもと直接交流する機会は十分に設けられていません。	幼稚園や保育園、関係機関との連携や情報共有を継続し、子どもの特性や保護者の意向、安全面にも配慮しながら交流の機会を持つ方法について検討していきます。